

留学生は日本の歴史展示をどのように紹介するか  
—国立歴史民俗博物館と千葉大学国際教育センターの連携—

国際教育センター 准教授 和田 健

近年多くの博物館では、来館した人たちが展示に深く興味関心を持って見学してもらうための補足的資料「ワークシート」を製作しています。これは展示物を素通りしてしまっただけではなく、展示の「どこ」に注目してほしいか、興味を導くための資料です。たとえば小・中学校を中心とした校外学習では来館する児童、生徒に持たせて館内を見学していく補助教材としてもよく使われます。博物館の一般教育普及活動として重要なツールとなっています。

しかしながら当然来館者は、校外学習で訪れる子どもたちだけでなく多様です。特に海外から来た来館者が、博物館の展示をどのように興味関心を持って見学しているのかについては、なかなかつかみにくいところもあります。また展示の意図を理解してもらい、展示物を素通りすることなく「面白い」と思ってもらおうポイントとは、自文化として日本人

が日本（の歴史や文化）を見るといこう視点と、異文化としての日本（の歴史や文化）を見る海外からの来館者の視点は違うことが想像されます。

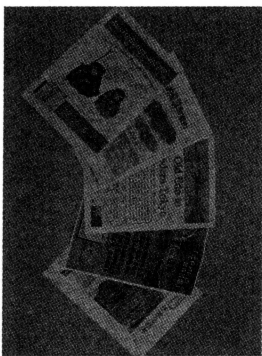
この点を明らかにしていく作業として、千葉大学国際教育センターと国立歴史民俗博物館（以下「歴博」と記します）は連携して、留学生の視点から「母国の人たちに日本の歴史や文化を表象する展示をどのように説明したら理解してもらえるのか」という命題のもと、母国語でワークシートを製作する授業を開講しています。この授業を受講する留学生は、おもに本学と交流協定を結んでいる海外

【表】母国語で製作されたワークシートタイトル一覧

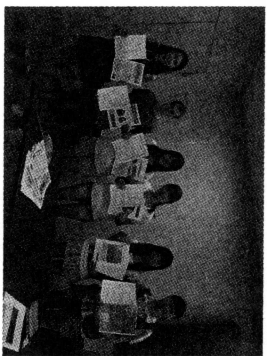
業務名	出身国	対象展示室	タイトル（日本語訳）
第1期 (2008年10月～ 2010年8月)	中国	1	構文人の道具世界、じつくり見てみよう 大置殿
	中国	4	日本建築—農村風俗
	中国	2	平安貴族の日常生活
	中国	1	古代の首都 平城京と長安城
	台湾	1	日本土曜の旅
	韓国	2	十六世紀 京城市外巡礼と洛中洛外回廊風
	韓国	1	普重以前の日本—古墳時代から平安中期まで—
	タイ	2	貴族の生活
	ペトナム	1	日本歴史文化体験
	インドネシア	1	知っていますか 縄文時代を勉強しよう
	ロシア	2	【羅氏物語】のページの旅行
	ポーランド	1,2,3	びっくりさせる日本の歴史！そして日本に住んでいた人々の不思議なあれこれ
第2期 (2010年10月～ 2011年8月)	中国	3	江戸時代の庶民の旅
	中国	3	あなたの未知なる都市 江戸へ
	インドネシア	2,3	東インド会社を通して見る江戸時代の日本とインドネシアの関係（1603-1868年）
第3期 (2011年10月～ 2012年8月)	中国	2	「漢字」から「仮名」までの道のりをなぞりながら日本に身えてきた影響を一緒に覗いてみよう！
	中国	3	近世日本 庶民建築
	中国	2	近世都市日本人の格差生活
	トルコ	1,2,3	王朝文化における貴族の暮らし
第4期 (2012年10月～ 2013年8月)	中国	1	日本の建物と室内
	中国	1	種々の祭り
	中国	1,2,3	植物と人の生活
	中国	3	江戸時代の蹴球物語
	インドネシア	3	モダン東京に息をえる江戸
	ドイツ	3	韓国？そんなことないよ！

・第1期 留台中国語学生は中国語（簡体字）、その他の中国からの留学生は中国語（繁体字）  
 ・第2期 留台中国語学生は中国語（繁体字）、その他の中国からの留学生は中国語（繁体字）  
 ・タイトルは日本語訳した。留学生により日本語訳されたものもある。  
 ・展示室は1＝第1展示室（展示、古代）、2＝第2展示室（展示、古代・中世）、3＝第3展示室（展示、近世）、4＝第4展示室（民俗）  
 ・資料の展示室番号が書かれてあるのは、展示室を横断する形で展示物を見てもらうワークシート。

の大学から来日した短期留学生  
 (本学では「J・P・A・C生と呼びま  
 す。以下「J・P・A・C生」と記し  
 ます)が中心です。受講者は授  
 業科目「特別研究Ⅲ」(秋学期)  
 および「特別研究Ⅳ」(春学期)  
 の両方を1年間かけて履修しま  
 す。本学の授業に歴博の研究者



受講生のワークシート  
 (左からポルトガル語、中国語、英語、中国語、中国語)



自作のワークシートと修了証を持つ受講生  
 (1年間の指導を受けてワークシートを完  
 成した受講生には歴博から修了証が授与  
 されます。)

が講師として参加し、国際教育センターの授業担当教員と協同で受講者を指導します。歴博は本学のこの授業科目における活動を博物館の広報連携事業のひとつに位置づけ「留学プロジェクト」と称し、受講するJ・P・A・C生に展示対象の持つ意味そして史資料の正確な解釈について指導をしていただきます。2009年10月からこのプロジェクトは始まり、現在第5期目を迎えます。これまで参加したJ・P・A・C生によるワークシートは、表にあるように合計26作品にのぼります。当初3年間は本学、歴博も試行期間として位置づけ、この連携事業が可能かを探ってきましたが、2012年10月より、本学は国際教育センターを、歴博は広報連携センターを活動拠点と位置づけ、両機関の連携事業として正式に協定を結び活動を行っています。なおこれらの作品は、現在のところ一般の来館者への

利用提供をしません(二〇一四年度、一般公開に向け準備中)。本学に後に来日する留学生たちを対象に、彼らの館内見学の補助的資料として活用しています。

この連携事業は、両機関にとって大きな効果をもたらしている、筆者は考えています。まず本学から見る大きな意義は、千葉県内にある日本の歴史研究の先端を担う研究機関でJ・P・A・C生が学ぶ機会を持つところにあります。彼らは何度も博物館に通い展示を見学し、「いかに展示のおもしろさや注目してほしいところを発見し伝えるか」を考え、ワークシートの構想を立てます。そして立てた構想をもとに歴博の研究者から指導を受けながら、日本の歴史を学び、母国語で表現する工夫を凝らします。参加したJ・P・A・C生にとつて、学外で創造的な作業をしながら自らの手でワークシートを作り上げる喜びはとても大きいようです。

またいっぽう歴博側も、1、2回訪問する来館者によるアンケートとは違い、1年間のJ・P・A・C生への指導を通じて、彼らを持つ異文化から見た日本の歴史表象への認識を知ることができるといいます。本事業は同じ県内にある両機関を通じた地域連携事業であるとともに、国際教育連携事業であるとも筆者は考えています。J・P・A・C生は日本に関心を持ち来日し、日本を学び帰国します。本事業は、彼らが母国でそして広く世界で多元的な視点を持ち、日本の歴史表象を伝え、牽強付会することなく日本を解説してくれる人材に育つ場である、と確信しています。

# 読んで、学んでみたい、千葉の現在。千葉学ブックレットシリーズ

定 800円  
 価 (税別) 720円

編 集：千葉大学 府総研学会  
 発 行：株式会社 千葉日報社  
 〒260-0013 千葉市中央区中央4-14-10  
 TEL 043(227)0066 FAX 043(224)3662

都市と農集-1	手賀沼発一農業で沼の水を浄化する 手賀沼の水質汚染改善と浄化による作物の栽培の成果を紹介。	高垣美智子・丸尾 暁 著	2007.5.24 9784924418584
都市と農集-2	生物資源を活かしたまちづくり—山武町「バイオエタノール」構想からの発信 山武のバイオエタノール構想の生い立ち、実現への取り組みを著者の私見で伝え展開。	横山浩文 著	2008.6.26 9784924418981
都市と農集-3	千葉からの品種改良「イノベーション」 ゲノムを活用した革新的な最先端農業の挑戦。	木庭真人・八幡茂木・山田正幸 著	2011.5.18 9784904353572
都市と農集-4	グリーン・ツーリズム—都市と農村の新たな関係に向けて 都市と農村の連帯する千葉県を舞台にグリーン・ツーリズムのあり方を探る。	大江健雄 著	2013.3.31 9784904354109
千葉の教育と文化-1	千葉版企業とつくる先導キャリア教育 千葉大の学生が子供たちに真・意欲・交渉能力を持たせたい学校教育に取り組む。	藤川正壮 著	2008.6.26 9784924418904
千葉の教育と文化-2	子どもの地味探検隊 千葉半島の大地と平野との関係を科学体験活動を通して地球のすばらしさを伝える良書。	高橋典明・山崎良雄 著	2008.6.26 9784924419011
千葉の歴史と文化-1	房総の伝説を「舞」で読む 房総の古代からの書寫の伝説資源を活かした製鉄の文化を紹介。	井上寿夫 著	2008.6.26 9784924418929
千葉の歴史と文化-2	海の暮らしと房総の民俗 海と関わりを持つ房総半島の民俗文化を大きく視野で細かく観察した。	和田 健 著	2008.12.18 9784904353124
千葉の歴史と文化-3	近代の千葉と中国留学生たち 20世紀前半の千葉で学んでいた中国留学生の動向を東京ジブラの覚悟の中で捉える。	泉城雄治 著	2009.12.18 9784904353151
千葉の歴史と文化-4	房総半島の先陣から列島史を考える—安房の原始・古代を掘り起こす— 房総の海をフェリットに海民の歴史から日本の歴史をひもとく。	関本義三 著	2011.5.18 9784904352627
千葉の政治経済-1	千葉の内なる国際化—地域と教育の現場から 国際空港をもつ千葉の役割や企業・大学の国際化の現状と地域・大学・社会の直面する課題とは。	石戸 光 著	2009.3.25 9784904353975
千葉の政治経済-2	「千葉のまちづくりを語る」 魅力ある都市とは何か？まちづくりの作業とはなにか？千葉市を舞台にまちづくりを考える。	水島治郎・吉永明弘 著	2012.3.30 9784904353432
千葉の政治経済-3	人口減少・環境制約下で持続するコミュニティづくり 而房総を「メジエリ」して、人口減少・環境制約下でも持続できるコミュニティとは。	倉原秀史 著	2012.7.10 9784904353532
千葉の健康-1	地域医療安全に貢献するAIを千葉大学が全面で研究して研究した成果。 死因不明の新たな取り組み	山本正二 著	2008.11.20 9784904353907
千葉の健康-2	人生これHLSOS—癌・心筋梗塞・脳卒中を防ぐHLSOS緩和の新提案— 人の生命活動はSOSという概念をもちろみ生と死への疑問を問う。SOSが奇蹟をもたらす。	鈴木大祐夫・菅 茂 著	2011.4.1 9784904353290
千葉の健康-3	患者中心の医療を実現する—千葉大学実習IPDからの発信— 患者中心の医療実現に向けてヘルスケアの新しい学習・実践を育成する新たな提案。	伊藤和子 著	2008.11.20 9784904352021
千葉の健康-4	千葉県の薬草I—現代医療への活用に向けて— 自然との共生の健康を考えた「昔の歴史を通して薬・健康・健康を考える入門書。	池上文雄 著	2009.12.18 9784904353120
千葉の健康-5	千葉県の薬草II—顕花植物130種の特性とその用途— 千葉県内の身近な薬草130種を網羅。形状・薬効・用途・県内の分布などを解説。	池上文雄 著	2009.12.18 9784904353127
千葉の健康-6	薬学の世界をのぞく 千葉大学薬学部創立120周年を記念し、農新の歴史を紹介。薬学を知る入門書として書かれた。	千葉大学大学院薬学研究院 著	2010.7.29 9784904353205
都市と自然環境-1	ミッパツツジはささやぐ—房総・里山の社会生態学 千葉県の自然の特性とその中でたつたミッパツツジの歴史を紹介。	小林智明・古賀賢二 著	2010.5.24 9784924418582
都市と自然環境-2	子どもを取り組むから守る 子どもたちを取り組むから守る。第一着者が詳細な実験観察に基づいて提案。	中村 政正・藤原一朗 著	2008.6.26 9784924418502
都市と自然環境-3	里山が危ない—負の遺産— ミミガ里山に天童に被せられた問題/危機に瀕する里山を紹介しその再生を考える。	藤原豊彦 著	2009.3.25 9784904353069
都市と自然環境-4	市民のカド湧水自然を守る 柏市「こんぶくろ地物語」NPO法人「こんぶくろ地自然の森」プロジェクト—全国一 産・官・学・民の連携で自然環境を守る注目の「パイブル」で「こんぶくろ地」を舞台の冒険とは。	2011.1.21 9784904353234	
房総の自然-1	房総半島の地学散歩—海から山へ— 第一巻 地学的話題の宝庫房総半島の独自性を生い立ち、旅行・探求を最新の資料に基づいて紹介。	宮内康裕・理学研究科地球科学コース 著	2008.6.27 9784904353014
房総の自然-2	房総半島の地学散歩—海から山へ— 第二巻 房総半島の地学的地学的地質学的科学的観点を軸に、実際に現場を検証したくなる。	宮内康裕・理学研究科地球科学コース 著	2009.3.25 9784904353083
房総の自然-3	自然の中に葉をさがす—千葉発の自然物研究小話 自然豊かな房総の天然資源の可能性。自然界からどんな葉が生まれ、育つか。	石橋正巳 著	2011.4. 9784904353433

## ●千葉学ブックレット クリエイティブ・コミュニティ創成拠点・千葉大学

発 行 国立大学法人千葉大学  
 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号  
 URL <http://www.chiba-u.ac.jp/>

編 集 国立大学法人千葉大学コミュニティ再生・ケアセンター  
 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号  
 URL <http://www.ccc.chiba-u.jp/>

印刷所 千葉日報社 広告局 企画事業部  
 〒260-0013 千葉市中央区中央4-14-10  
 TEL 043(227)0066 FAX 043(222)3040